

特別支援教育における指導及び 支援の具体的な手立て 参加のご案内

- ◆ 期 日 平成22年2月26日(金)
- ◆ 会 場 国立オリンピック記念青少年総合センター
〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1
- ◆ 定 員 700名
- ◆ 主 催 独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所

特別支援教育体制への移行から2年が経過いたしました。現在、特別支援学校のみならず通常の小・中・高等学校でさまざまな実践がなされております。本研究所では、特別支援教育を支え、進展させるための研究に着手しております。セミナーⅡはこれらの研究成果を紹介し、各校の実践や研究に資することを主たる目的として開催するものです。

今回は、本研究所が重点推進研究あるいは専門研究Aとして取り組んできました以下の4つの研究を報告いたします。重点推進研究は、本研究所において専門研究の内、重要性及び緊急性という観点から重点的に推進する研究です。また、専門研究Aは、障害種別によらない研究で、特別支援教育推進のための総合的研究あるいは障害種別の共通テーマの研究として位置づけられているものです。

全体会では「特別支援教育におけるICF-CYの活用に関する実際研究」(専門研究A)からICFの活用について、第1分科会では、「小・中学校等における発達障害のある子どもへの教科教育等の支援に関する研究」(重点推進研究)から学級サポートプランを活用したわかる授業づくりについて、第2分科会では、「障害のある子どもへの進路指導・職業教育の充実に関する研究」(専門研究A)から支援ツールの提案について、そして、第3分科会では「重複障害児のアセスメント研究」(専門研究A)から重度・重複障害のある子どもの「見え方」と「コミュニケーション」について、研究成果を報告いたします。

また、昨年同様に平成20年度に終了した研究課題について、ポスター形式での研究成果発表を行い、参加者と直接意見交換ができるように計画いたしました。多くの方々のご参加をお待ち申し上げます。

国立特別支援教育総合研究所セミナーⅡ 実施ワーキンググループ長
原 田 公 人

日 程

会場 カルチャー棟：大ホール、小ホール センター棟：417室

9:00	9:30	9:45	10:05	10:15	12:00	13:00	14:00	16:30
受付	開 会	研 究 説 明	休 憩	全体会	休 憩	ポ ス タ ー 発 表	第1分科会 第2分科会 第3分科会	

国立特別支援教育総合研究所研究体制について

9:45 ~ 10:05

本研究所は業務主体の組織になっていますが、研究面については、研究目的や内容に応じた研究職員で構成される研究班を設置して取り組んでいます。この研究班は、横断的総合的課題に応じた研究班と障害種等に応じた専門研究班に大別されます。研究職員は、横断的総合的課題研究班と専門研究班のいずれも1つ以上所属することを原則としています。各研究班では、課題に応じたチームを編成して研究を進めています。研究課題は、中長期的視点に立ってとりまとめた本研究所の「研究基本計画」に基づき、外部の意見等も反映した上で策定しており、ナショナルセンターとして重要な政策的課題や学校現場の喫緊の課題やニーズへの対応に努力しているところです。平成21年度は、13研究班で18課題の研究に取り組んでいます。

大内 進 国立特別支援教育総合研究所 企画部総合企画調整担当

全体会

10:15 ~ 12:00

特別支援教育におけるICF（国際生活機能分類）活用の実際 ～ 一人一人のニーズを踏まえた指導と支援の充実のために ～

専門研究A「特別支援教育におけるICF-CYの活用に関する実際研究」

子どもの理解と指導・支援の充実のために、WHO（世界保健機関）から2001年に出されたICF（国際生活機能分類）を活用する動きが広がってきています。新しい特別支援学校学習指導要領・教育要領の解説書においても、障害のとらえ方や個別の教育支援計画におけるICFの活用について述べられています。全体会においては、まずこれまでの研究活動の成果を踏まえた基調報告を行い、その後、個別の教育支援計画や指導計画、授業の改善等にICFを活用した具体的な実践報告を行います。最後に、参加者の方々も交え、一人一人のニーズを踏まえた指導と支援の充実のためのICF活用の実際について考えたいと思います。

司会 松村 勘由（国立特別支援教育総合研究所）

基調報告 徳永亜希雄（国立特別支援教育総合研究所 主任研究員）

実践報告 二階堂 悟 氏（秋田県立勝平養護学校 教諭）

山元 薫 氏（静岡県立御殿場特別支援学校 教諭）

指定討論 佐藤 満雄 氏（北翔大学 教授）

ポスター発表

13:00 ~ 14:00

国立特別支援教育総合研究所で実施した平成20年度終了研究の成果について、研究担当者よりポスターを用いて報告します。

分科会

14:00 ~ 16:30

第1分科会 通常の学級における発達障害のある子どもへの支援 ～学級サポートプランを活用したわかる授業づくり～

重点推進研究 「小・中学校等における発達障害のある子どもへの教科教育等の支援に関する研究」

小・中学校における発達障害のある子どもへの支援は、個別的な場による指導だけでなく、通常の学級の中で多くの教員ができる配慮や支援の工夫が求められます。本研究では、研究協力校の実践を通して、学級経営、授業改善の視点も含めた教科教育等の支援について、効果的な支援のモデルとなる学級サポートプランを作成しました。ここでは、実践報告をもとに発達障害のある子どもへの教科教育等の支援について議論を深めたいと思います。

司会 梅田 真理 (国立特別支援教育総合研究所)

研究報告 笹森 洋樹 (国立特別支援教育総合研究所 総括研究員)

シンポジスト 田辺 敦子 氏 (高知県高知市立三里小学校 教諭)

大里 朝彦 氏 (神奈川県相模原市立富士見小学校 校長)

森 香明 氏 (埼玉県熊谷市立富士見中学校 教諭)

指定討論者 長澤 正樹 氏 (新潟大学 教授)

第2分科会 特別支援学校における進路指導・職業教育の充実に資する ための支援ツールの提案 ～全国調査をふまえて～

専門研究A 「障害のある子どもへの進路指導・職業教育の充実にに関する研究」

本分科会では、平成20年度に全国の特別支援学校の進路指導・職業教育の担当者を対象として実施したアンケート調査結果の概要を報告し、全国調査を基に作成した支援ツール(案)について説明します。また、本研究の研究協力者より、各学校の進路指導・職業教育の実践を紹介していただき、学校種での特徴や共通性を踏まえた進路指導・職業教育について協議し、支援ツール(案)の活用について提案いたします。

司会 千田 耕基 (国立特別支援教育総合研究所)

パネリスト 神崎 好喜 氏 (横浜市立盲特別支援学校 教諭)

秋山 秀二 氏 (千葉県立千葉特別支援学校 教諭)

小嶋 忠史 氏 (宮崎県立赤江まつばら支援学校 教諭)

美濃 亮 氏 (文部科学省初等中等教育局特別支援教育課 専門官)

原田 公人 (国立特別支援教育総合研究所 総括研究員)

柳澤亜希子 (国立特別支援教育総合研究所 研究員)

第3分科会 重複障害のある子どものアセスメント ～見え方とコミュニケーションに関する初期的な力の評価と支援～

専門研究A 「重複障害児のアセスメント研究—視覚を通じた環境の把握とコミュニケーションに関する初期的な力を評価するツールの改良—」

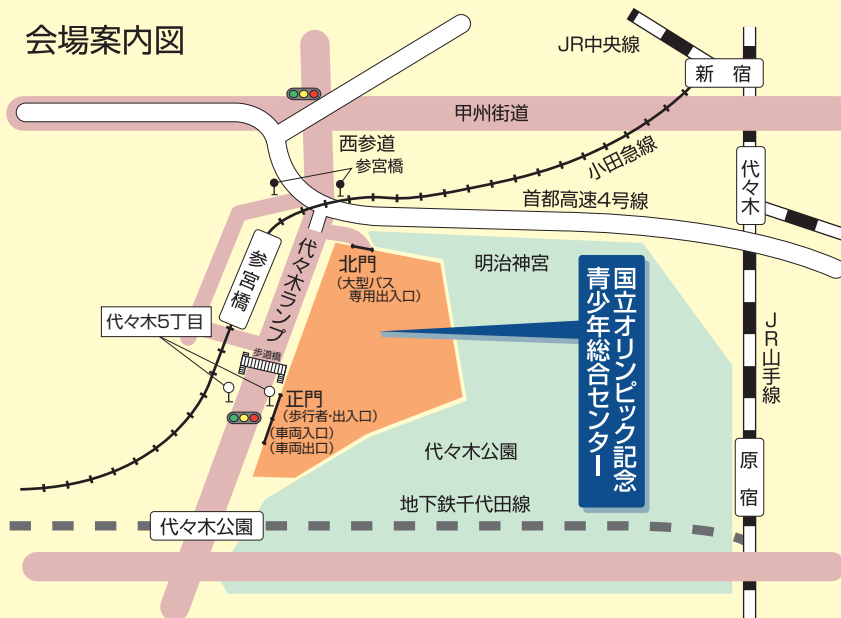
担当 齊藤由美子・中澤 恵江 (国立特別支援教育総合研究所)

重度・重複障害のある子どもの「見え方」と「コミュニケーション」について、教員自らが実施することができ、実態把握を日々の教育実践に結びつけることのできるアセスメントを、講義・演習方式で紹介します。見え方のアセスメントは、「見えているかどうかははっきりしない」と言われる子どもを対象に、光と色を用いて見え方を評価します。コミュニケーションのアセスメントは、見落としがちな子どものコミュニケーション的行動やそのゆっくりとした変化に対して、教員や保護者の気づきを促します。評価結果を教育実践につないだ学校事例についてもご報告します。

◆ 参加申込み

- (1) 申込み要領 参加申込は、次のいずれかの方法により行ってください。
- (i) インターネットによる申込み
研究所ホームページ (<http://www.nise.go.jp/>) 右上「研究所セミナーⅡ参加申込み」から、申し込んでください。
※連続して複数の申込はできません。お手数ですが一人分ずつトップページから入って、お申し込みください。
- (ii) FAXまたはe-mailによる申込み
別紙参加申込書(様式)に必要事項をご記入の上、FAXまたはe-mailで、お申し込みください。
※参加申込書用紙は研究所ホームページ(<http://www.nise.go.jp/>)からダウンロードできます。
- (2) 申込み期間 平成21年12月7日(月)～12月21日(月)
※12月7日以前の送信は、受け付けいたしませんのでご注意ください。
- (3) 申込み 独立行政法人国立特別支援教育総合研究所
問い合わせ先 総務部企画調整課企画係
〒239-8585 神奈川県横須賀市野比5-1-1
TEL 046-839-6806 (又は6808)
FAX 046-839-6919
e-mail seminar@nise.go.jp
- (4) 定 員 700名
※先着順で受け付け、定員を超えた場合は小ホールでの映像視聴となります。
- (5) 参加費 無 料
- (6) 昼 食 各自で用意されるか、センター内の食堂等をご利用ください。
※ホール内での飲食はできませんが、会場のロビーはご利用いただけます。
- (7) 宿 泊 宿泊が必要な場合は、各自で手配してください。
- (8) そ の 他 録音・撮影はできませんので、ご留意願います。

会場案内図



国立オリンピック記念青少年総合センター

〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3番1号 TEL.(03) 3469-2525 (代表) FAX.(03) 3469-2277

〔交通案内〕

- 小田急線 参宮橋駅下車 徒歩約7分
- 京王バス
新宿駅西口(16番)より 代々木5丁目下車
渋谷駅西口(14番)より 代々木5丁目下車
- 地下鉄千代田線 代々木公園駅下車 [代々木公園方面4番出口]
徒歩約10分

- ◆ FAX または e-mail で申し込まれる方は、本様式に必要事項をご記入の上、12月7日（月）～21日（月）の期間内に、お申し込みください。後日、FAXまたはe-mailで参加票を送付いたします。
(12月7日以前は受け付けいたしません。定員の700名を超えた場合は小ホールでの映像視聴となります。)
- ◆ 一枚に一人ご記入ください。(本紙のみ送信ください)
- ◆ 研究所ホームページ (<http://www.nise.go.jp/>) から、この参加申込書用紙はダウンロードできます。
- ◆ 送信先 独立行政法人国立特別支援教育総合研究所 総務部企画調整課企画係
FAX : 046-839-6919
e-mail : seminar@nise.go.jp

平成21年度国立特別支援教育総合研究所セミナーⅡに申し込みます。

平成 年 月 日

① 参加日 平成22年2月26日（金）

(参加したい分科会を優先順に記入ください。)

② 希望分科会 第1希望：第 _____ 分科会
第2希望：第 _____ 分科会
第3希望：第 _____ 分科会

参加希望は、先着順となります。
会場の定員により、第1希望以外の分科会に変更させていただくことがあります。

(ふりがな) ()

③ 氏 名

④ 都・道・府・県

⑤ 勤務先・(職名) ()
(該当に○をしてください)

⑥ 連絡先 電話番号 【 】 勤務先 【 】 自宅

⑦ 返信先 FAX番号 【 】 勤務先 【 】 自宅

⑧ 手話通訳等が必要な場合は、その旨ご記入ください。

⑨ 事前アンケート

本セミナーでは、参加者の皆さんからの情報を事前にお伺いし、セミナーに反映できればと考えています。恐れ入りますが、本セミナーで得たい情報、障害のある子どもへの教育的支援等に関して、皆さんが普段感じていること、考えていることがありましたらご記入ください。